



猿楽だより

渋谷区立猿楽小学校
令和8年2月27日
No.12

「子どもの力」で誰も取り残さない学校

校長 成田 弥生

三寒四温を繰り返し、校庭の木々も花芽も暖かい春の訪れを待ちわびているように見えます。寒風吹きすさぶ朝でも、あいさつ隊の子供たちの元気な声が寒さを吹き飛ばしてくれています。寒い朝にもかかわらず、全校朝会や集会で体育館に集まる際には、開始予定時刻よりも早く集合が完了し、スムーズに会を始めることができ、時間を守ろうとする意識も高まり、成長を感じます。年度当初、4月の始業式で、子供たちに「学校は何のためにあるか」を尋ね、以下の2つのメッセージを伝えました。

「学校は何のためにあるのか」

それは、「学校は子どもたちの幸せのためにある」

「子どもの力で誰も取り残さない学校にしてほしい」



猿楽小では、自他ともの幸福と「子どもの力・子ども発」を大切に今年度、教育活動を展開してまいりました。

5月と12月に全校児童に、渋谷区小学校「7つのカアンケート」を行い、その結果によると本校の児童は、**幸福感が高い・人の役に立ちたい・学校は楽しいところ**と考えていることが分かります。

「子どもも大人も笑顔あふれる学校」と自他ともの幸福を実現するために温かいコミュニケーションを何よりも大切にしてきたことにより、相手意識が高まってきたように思います。

また、「子ども発」の取組でルールメーキングや子ども企画の実施や「さるラボ

(探究学習)」の取組で、自分たちや周りの人の生活や大好きな街や世界が良くなるように考えたこと。そして、企画をして実現したことなど、「子どもの力でやればできる！」を体感したのではないかと考えます。子供たちの成長の裏には、教職員、保護者、地域の方の大いなるサポートがあったことに感謝の念に尽きません。いつも温かく見守り、御協力いただき、ありがとうございます。

春のさるフェスより



本日、シブヤ未来科マイラボ発表会を行い、中・高学年のマイラボの成果を見ていただきました。いかがでしたでしょうか。「自分の好き」を突き詰め、どの子も自分の学びを楽しんで進めたからこそ、自信をもって、自分の言葉で熱を込めて語る姿に成長を実感しました。

いよいよ来年度、猿楽小学校は110周年を迎えます！

子供たちは110周年に向けて、歌やダンス、3Dがくちゃん(学校キャラクター)の開発をして、完成をしました。また、地域・PTAの方々とは周年の実行委員会を立ち上げて、ワクワクしながら準備を進めております。

「心、つなぐ」のテーマのもと「子ども発」で地域・保護者、そして卒業生の皆さまと共に、さらに猿楽小の絆を深め、心に残るメモリアルイヤーにしてまいりたいと思います。